

浜松市文化財情報

梶子（かじ）遺跡の出土品整理をしています

現在、埋蔵文化財調査事務所では、昨年7月から11月にかけて発掘調査を行った梶子遺跡（中区南伊場町）の整理作業を進めています。

発掘調査では、縄文時代から戦国時代にかけての土器や石器、木製品や金属製品など様々な遺物が出土しました。これらの遺物はコンテナに90箱ほどあり、現地調査が終わった直後から土器に付いた土を洗い落とししたり、割れた土器を接合する作業などを進めてきました。8月末の時点で、出土した土器の接合作業が終盤を迎えつつあり、出土品の全貌が明らかになりつつあります。



祭りの道具と装飾品

▶馬や人をかたどった祭りの道具や、玉類・耳環などのアクセサリーが出土しました。

◆梶子遺跡から出土したものは？

今回の発掘調査で最も多くしたのは、古墳時代後期から奈良時代にかけての遺物です。須恵器には坏や高坏、土器器には甑や甕などがあります。その他、土製支脚と呼ばれるカマドに土器を置くときに使う支えなども出土しました。



古墳時代の出土品

▶大きな土器は米を蒸すのに使われたもので、小さなものは食器として用いられました。

次いで多いのが戦国時代の遺物で、かわらけと呼ばれる小さな素焼きの器や内耳鍋と呼ばれる土鍋があります。特に内耳鍋は良く使い込まれており、触ると表面に付着した煤で手が真っ黒になるほどでした。これらも日常的に食事に用いられた道具であり、連綿と続く人々の生活の痕跡をうかがい知ることができます。



戦国時代の出土品

▶土鍋や食器など、主に日常生活に関わるものが出土しています。

◆墨書土器も見つかりました

奈良時代から平安時代にかけての土器の中には、墨で文字が書かれたものが含まれていました。これらの墨書土器は、現地調査の段階で見つけたものと、整理作業が進むにつれて見つかった小さな破片があり、最終的には27点を数えました。

▶遺跡周辺の古い地名である「竹田」と書かれたものが多いようです。



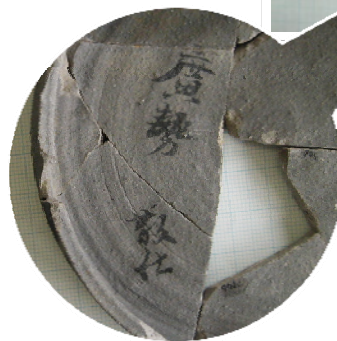
出土した墨書土器

こうした墨書土器の接合作業を進めたところ、奈良時代の郡役所に勤めていた職種を示す「散仕」と書かれた土器と、人名と思われる「廣勢」と書かれた土器が接合し、同じ土器であることが明らかになりました。「散仕」の文字は「廣勢」に対して一回り小さく、方向が一致していないことから、後から書き加えられた可能性が考えられますが、人名とその役職名が書かれた貴重な資料であると言えます。

▶出土した土器について、実寸大で正確な図面を作成します。



土器の実測図



◀「廣勢」「散仕」と読めます。「散仕」は、郡役所で文書の運搬などの連絡調整を行う職員のことを指します。

今後は年度末の報告書刊行を目指し、実測図と呼ばれる土器の図面を作成したり、復元した土器の写真撮影などを進めていきます。

8月には、こんな調査活動などを行いました。

1日	東区和田町	木船廃寺跡工事立会い
3日	南区三和町 浜北区新原	村内遺跡・東原遺跡現地発掘調査開始
4日	西区伊左地町	仮屋坂遺跡工事立会い
5日	南区若林町	井村遺跡試掘調査
6日	(社)静岡県宅地建物取引業協会浜松支部	埋蔵文化財取り扱い講師派遣
8日	東区神立町	将監名遺跡工事立会い
10日	西区深萩町	後之遺跡工事立会い
12日	埋文事務所	浜松教師塾(教員研修)受入
19日	天竜区春野町	和泉平Ⅱ遺跡工事立会い
28日	本庁 東原遺跡	第1回文化財保護審議会 浜名高校史学クラブ見学(14名)

◆横尾歌舞伎定期公演

県指定無形民俗文化財である「横尾歌舞伎」の定期公演にぜひお越しください!

- 日時: 10/10(土)~11(日)
午後6時開演
- 場所: 東四村農村コミュニティセンター 開明座
(北区引佐町横尾)

■演目

<初日>

- ・寿寺三番叟 宝の入船
- ・菅原伝授手習鑑 車曳きの場
- ・義経千本櫻 吉野山道行の場
- ・假名手本忠臣蔵七段目 祇園一力茶屋の場

<千秋楽>

- ・假名手本忠臣蔵七段目 祇園一力茶屋の場
- ・菅原伝授手習鑑 車曳きの場
- ・義経千本櫻 吉野山道行の場



国文祭は、お城に関するイベントが盛りだくさん!~前編~

10/24から11/8にかけ、「今よみがえる浜松の城」と題し、城跡(しろあと)フェスティバルを開催します。

期間中は、城跡に関するイベントが目白押し!ぜひご来場ください。前編と後編(10月号)にわけて、イベントの概要をお知らせします(詳細はチラシ等を参照下さい)

10.24(土)~11.8(日)

◆展覧会徳川・武田争奪の城

時間/9:00~21:00(火曜休)
会場/浜松まちづくりセンター
入場/無料

徳川・武田争奪の城として知られる二俣城をはじめとする北遠・湖北の30城を、絵図・縄張り図・鳥瞰図・写真などで解説します。



◆展覧会絵図で見る浜松城

時間/9:00~17:00(月曜休)
会場/クリエート浜松
入場/無料

各種の浜松絵図を元に、浜松城内にあった櫓や門などの建物を紹介し、併せてその位置を考えます。



10.25(日)

◆戦国の城を結ぶのろしりレーと城跡見学会

時間/10:00~ ※雨天中止
会場/市内の主な城跡

水窪町兵越峠から武田信玄の遠江侵攻ルート上にある浜松の主な城をのろしり結びます。

主な城跡:

11.7(土)

◆浜松城徹底見学会

時間/10:00~11:30
会場/浜松城一帯
参加/無料。参加申込みは不要です。

甲冑武者が
ご案内します!

◆講演会「今よみがえる浜松の城」

時間/13:30~16:00
会場/クリエート
入場/無料(定員350人・先着順)

講演1 「戦国時代の遠江の城」 中井均氏
講演2 「織田・豊臣時代の遠江の城」 加藤理文氏
記念講演 「今、よみがえる浜松城」 三浦正幸氏

11.8(日)

◆シンポジウム「三方ヶ原合戦を語る」

会場/クリエート浜松
入場/無料(第1部と第2部は要申込み)

★シンポジウム申込方法★第1部・2部通しての参加となります。
往復はがき(1人1枚)に、住所・氏名・電話番号・返信用の宛名を記入の上、「城跡フェスティバル」係宛(〒430-0929 浜松市中区中央1-12-7 浜松市地域情報センター3F)へ。
締め切り:10月9日(金)必着

■第1部: 記念講演会「三方ヶ原合戦と浜松城」

時間/10:00~11:30
講師/小和田哲男(静岡大学名誉教授)

■第2部: シンポジウム「三方ヶ原合戦を語る」

時間/13:00~15:00
パネラー/小和田哲男・宮下英樹・加藤理文
コーディネーター/中井均

■第3部: 宮下英樹サイン会

時間/15:30~16:30
※100名限定。当日9時より会場で整理券を配布。

編集
後記

国民文化祭まで、あと1ヶ月。のろしりレーや二俣一夜城など「城跡フェスティバル」各種イベントの準備も着々と進められ、参加する地元の皆さんの熱気も急上昇しています。はやくも当日の天気への心配をしている今日この頃…。どうぞ、ご期待ください!